

保育の友



特集

子どもの成長を共に楽しむ行事



発信！
地域に向けた
社会福祉
の実践

1
「子育て」と「子育て」
育ち合える地域づくり

愛知県・社会福祉法人明照保育園
幼保連携型認定こども園明照保育園 副園長 中島 美奈子

当園は、戦前からの農繁期の託児所を経て一九五三(昭和二十八)年に創立され、二〇一五(平成二十七年)年度より定員二八五名の幼保連携型認定こども園となりました。創立以来「心身ともにたくましく、思いやりのある子ども」を保育・教育目標に掲げ、地域に開かれた園としてさまざまな取り組みを進めてきました。

子どもが子どもらしく育つために

子育てがおもに母親に委ねられてしまっていることで、不安や負担感を感じる母親の姿が多く見られるようになり、二〇〇〇(平成十二)年頃から保護者の子育てに歩み寄る保育事業を積極的に展開してきました。同時に、地域で子どもが子どもらしく育つ環境づくりの実践も

考えました。

園庭開放や親子ひろば、市内にある子育て支援施設への出前保育という「子育て」支援から、徐々に「子育て」支援にも力を注いでいきました。

月に一回、小・中学生や地域のかたがあそびに来る「なかよし保育」、高校生による絵本の読み聞かせなど、さまざまな交流を定期的に行っています。

毎年約二〇〇名の中学校三年生が三日間に分かれて園児と交流をする取り組みは、半分おとなで半分子どもであるこの時期に、ふれ合うことの少なくなった乳幼児と肌で触れ合う貴重な体験となっているようです。

大きな縦割り集団での育ち合い



子ども食堂～おとなりさん～

らの声を聞いたり、子育て中の保育者や職員からも意見をもらいました。さらには地域の保育・子育て施設や学校、保育者養成校、療育機関とも検討を重ね、実践過程そのものが地域との連携を深めるという成果につながっています。

このような活動を長く続けていくことで、園児が立派に親となる姿を見たり、なかには保育者として働くことになったりするのも、嬉しい成果だと思います。

二〇〇三(平成十五)年度よりスタートした児童クラブ(学童保育)は、現在小学校一〜六年生までの一四〇名が在籍しています。下校後や長期休みには赤ちゃんの世話や幼児への絵本の読み聞かせ、掃除など職員のお手伝いまでしてくれる、園児の憧れの存在です。

不登校支援と無料学習等支援・子ども食堂

児童クラブと共に開設した「フリースクール」部門は、現段階では公的な補助



無料学習支援

「ドナタデモオイデクダサイ」を土台に

当園は託児所だった当時「ドナタデモオイデクダサイ」という看板を掲げていたそうです。このことは現在の人たちにとっては嬉しく心強いものですし、今後園の保育の柱として変わらず大切にしていきたいと考えています。

それと同時に、「おいでください」人たちが思いや知恵を出し合うことで互いに育ち合い、さらなる地域環境の土台をつくられていくことが今後期待されます。

や利用料などがありません。保護者の相談に乗ったり学校と連携したりしながら、園で子どもとあそびつつタイミングを見て、まずは学校の保健室でもと、そっと背中を押していくような支援をしています。学校での切り取られた評価だけでなく、「こんないいところがたくさんあるよ」「ちゃんと見ているからね」と声をかける温かい存在でありたいと願っています。

保健室登校の中学生や市の適応指導教室の生徒たちが、園児とあそんだり世話をする活動も定期的に行っています。嬉しそうに手をさしだす園児たちに、はじめは緊張気味だったものの、みるみる顔を輝かせ一生懸命にお世話をしている姿は、とてもいきいきしています。

また、無料学習支援と共に始めた「子ども食堂(おとなりさん)」は、貧困対策やひとり親家庭支援の一環としてだけでなく、父親の帰宅が遅く仕事と家事と子育てに迫られた母親の負担軽減も目的として、昨年の六月より週二回行っています。「園だとこんなに食べるんだ!」などと保護者同士の会話も弾みます。

これらの実践にあたっては、保護者か



社会福祉法人明照保育園
幼保連携型認定こども園明照保育園
〒441-8093 愛知県豊橋市牟呂中村町6-1
TEL.0532-31-1419
<http://www.tcp-ip.or.jp/~meisyou/>